

第33回 FM八女番組審議委員会 議事録

- 1 開催日 平成29年 8月25日（金） 午後4時00分
- 2 開催場所 FM八女 本社 会議室
- 3 出席者 出席者総数 6名
委員総数 7名
出席委員（4名） 青木歳男 加藤大輔 木下靖之 酒井裕樹
レポート提出委員（3名） 吉武信博 荒川真美 篠原加代

放送事業者側出席者（2名） 高木祥平 中島直樹

- 4 議題 特別番組「もちの木 福高ラジオ」
6月23日（金） 15：00～17：00 放送分
- 5 議事の概要 放送事業者が事前にCDに収録し、資料とともに各委員へ届けていた。
上記の番組について、モニター後の感想を全委員に述べていただいた。
- 6 番組内容 福岡県立福島高校の生徒が作り、生徒でお送りする特別番組
- 7 審議内容
- ・オープニングのBGMは爽やかで良く、話し方も良かったが、練習不足を感じた。また原稿を方言にして棒読みするのは聞きづらかった。しかし、初々しさという面では良かった。
 - ・吹奏楽部の演奏はボリュームがとても小さく感じたため、収録方法や編集方法を考える必要がある。また吹奏楽部での校歌の演奏は、OBでもない人からするとつまらなかった。
 - ・放送部のコーナーは発声、発音ともに良かった。
 - ・部活動紹介は部員数や成績を紹介する部活が多かったが、どんな練習をしているかなど内容をもっと知ることができる内容のほうがよかった。部活によって、はっきり紹介する人と暗い人の差が激しかった。もっと学校側のチェックが必要。
 - ・コーナー間の曲に福島高校出身ミュージシャンの楽曲を用いていたところは良かった。
 - ・ヒロ' sキッチン、この部活に入りたいと思うほど楽しさが伝わってきた。
 - ・卒業生が出たコーナーは、内容は良かったが、長く感じた。

- ・英会話部は八女弁を英語に変えるという発想が良かったが、頭の中で八女弁を標準語にして、そこから英語に変換するという手間があったので楽しめない部分もあった。
- ・全体を通して、高校生らしい一生懸命な番組だった。企画、校正、編集から放送まで非常に良く完成されていた。しかし、ラジオ放送というよりは学芸会の感もあり、生徒や学校関係者の満足のための企画のように思えた。「番組制作体験」として消費する場合は今回の内容で問題ないが、誰に何を届ける番組かというコンセプトをしっかりと持つ必要があると感じた。福島高校の進路は約25%が就職、約40%が短大・専門学校等2年以内に社会に出ることを考えれば、この番組を通じ、伝えたい人に具体的に意図をもって伝えることの重要性（マーケティングの要素）を学ぶ場にしても良いと思った。

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページへ掲載

9 次回の番組審議委員会

日時 10月26日（木） 午後4時00分

場所 FM八女 本社 会議室

社名	一般財団法人 FM八女
----	-------------